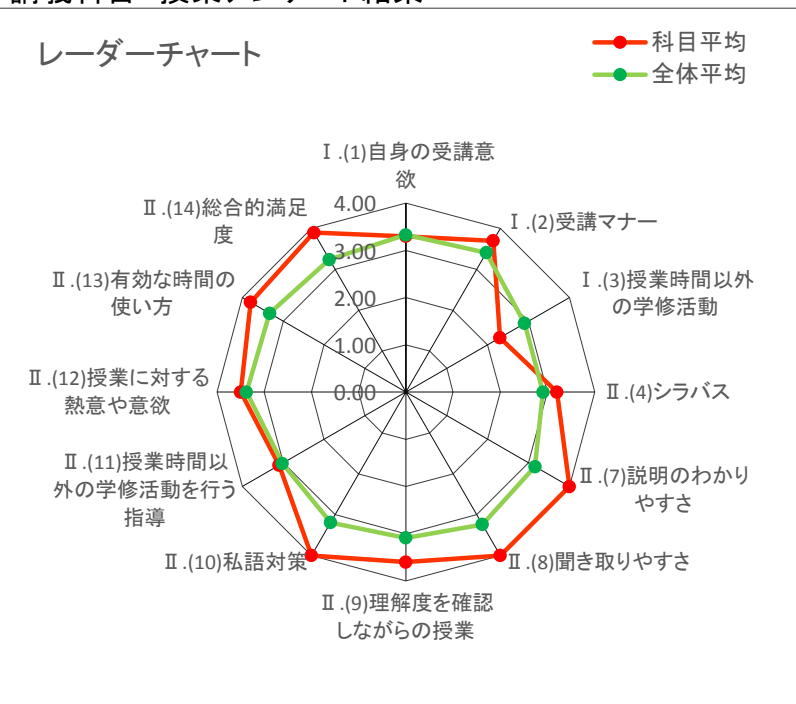
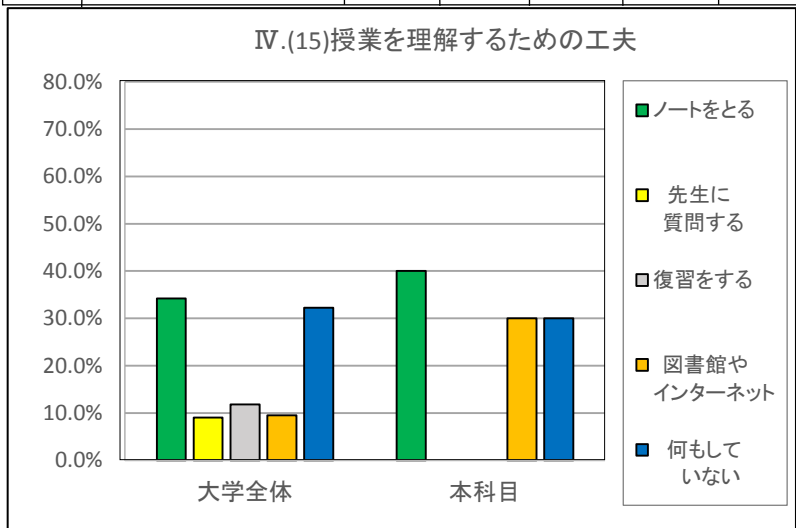


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	41202
科目名	環境化学の基礎
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.30	3.33
	I.(2)	3.70	3.41
	I.(3)	2.30	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.20	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	4.00	3.16
	II.(8)	4.00	3.24
	II.(9)	3.60	3.09
	II.(10)	4.00	3.19
	II.(11)	3.10	3.03
	II.(12)	3.50	3.38
	II.(13)	3.80	3.33
満足度	II.(14)	3.90	3.24

①授業計画の達成度について

シラバスには講義の全体の流れや目的を記述しており、評価としてはやや全体平均より良いと言えるが、必ずしもその内容を十分理解した上で受講しているわけではないと思われるので、講義冒頭でも今後の講義の流れを示し、当日の講義概要を説明するなど、講義計画を把握できるように配慮している。またシラバスは講義選択にとっても重要であることから、シラバスにおいても講義計画が把握できるよう、記述方法についてはさらに検討する必要があると思われる。本講義は、日常生活に関わる環境問題の実例等を取り上げ、化学的な観点からできるだけ環境への理解を深めていく科目である、理系的な要素が含まれているものの、「難易度が高い」と感じた受講生は少なく、今後も、講義内容をわかりやすく伝える方法を工夫し、身の回りの環境へ興味・関心を高めていきたいと考える。

②授業の進め方について

「説明のわかりやすさ」や「聞き取りやすさ」に関しては、「やや」も含めて多くの受講生が「わかりやすい」と言う高い評価が得られた。また、「私語対策」に対しても、受講生は高い評価していることから、講義環境を維持し、講義内容をわかりやすく伝えることはできたものと思われる。その結果として、「総合的満足度」は非常に高い値を示している。ただし、「授業時間以外の学修活動」やそれを促す指導が不足していることが指摘されており、今回の講義では、講義時に質問等を行うことはあったが、講義後に取り組むことができる課題を提示することはほとんどできなかった。講義外での受講生の学修活動を活性化させ、講義内容に積極的に取り組む姿勢を身に付けさせるためにも、さらなる取組を行う必要があると思われる。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.10	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.65	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.90	3.24
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今回の講義では、私語の少ない静穏な講義環境を維持することができたとともに、難解になりがちな理系的な講義内容をわかりやすく伝えることができたものと思われる。講義満足度に対しても高い評価がなされているが、講義外での自発的な学修に対する取組姿勢を促すことが不足しているようで、本講義の主要な題材である「環境」への興味・関心を実際に高めることができたのかには疑問が残る。今後は、講義中における発問を増やし、自ら考える機会を適宜設けるほか、講義外で取り組むことのできる課題を用意することも考えたい。また、理系的な専門事項を伝える際には、その意味や内容を丁寧に説明し、理解するための時間的余裕を設けていくこと考えたい。